



日本で、さかんに活動している火山を教えて

伊豆大島の三原山と雲仙岳（普賢岳）

日本は世界の中でも、火山の多い国です。今でも活動している火山は、たくさんあります。最近、大きな噴火をした火山は、伊豆大島の三原山と、雲仙岳（普賢岳）です。

三原山は、1986～1987年にかけて、噴火しました。非常に激しい噴火で、危険な状態になったので、島民のほとんど全員が、東京などにひなんしました。

雲仙岳（普賢岳）は、1990年から噴火を始め、高温の火山ガス、火山灰・火山れきなどが混ざった火砕流が、くり返しふもとの町をおそい、亡くなったり、行くえ不明の人が44人いました。また、たくさんの家や畑が、どろの下にうずまり、たいへん大きな被害が出ました。

阿蘇山・桜島、浅間山

いつも噴煙を上げていて、ときどき噴火する火山には、九州の阿蘇山・桜島、群馬県と長野県の境にある浅間山などです。

桜島と浅間山は、ねばりけの多い溶岩をふき出し、激しく噴火して、噴煙を1万メートル以上の上空に、ふき上げることもあります。

最近、火山活動があった火山には、北海道の雌阿寒岳・有珠山・十勝岳・駒ヶ岳・樽前山など、本州では、蔵王山・吾妻山・那須岳・白根山（草津）・浅間山・三原山・三宅島・焼岳・御嶽山など、九州では、阿蘇山・雲仙岳・霧島山・桜島・くじゅう連山（中岳）などです。（監修・国司 真）

